

国立研究開発法人

国立成育医療研究センター理事長 殿

国立成育医療研究センター病院長 殿

国立成育医療研究センター

医療安全監査委員会

委員長 岡 明

2022年11月29日に実施しました、医療安全監査委員会の結果を別添のとおり報告します。

令和4年度第2回 医療安全監査委員会 監査報告書

国立成育医療研究センター医療安全監査委員会規程第7条第2項の規定に基づき、医療安全管理に係る業務の執行状況について監査を実施いたしました。その方法並びに結果について、以下の通りご報告いたします。

1. 監査方法及び監査項目

(1) 監査方法

2022年度上半期の業務の執行状況について、2022年11月29日に担当部署職員等からのヒアリング並びに関係書類の確認により実施した。

(2) 監査項目

- ① 前回委員会の提案、助言に対する回答
- ② 医療安全管理体制
- ③ 医療安全管理部門の活動
- ④ 医薬品安全管理体制
- ⑤ 医療機器安全管理体制

2. 監査結果

① 前回委員会の提案、助言に対する回答

前回委員会の監査報告書においてなされた提案・助言に対し、適切に対応されていることを確認した。

② 医療安全管理体制

前回の報告から変更がないことを確認した。

③ 医療安全管理部門の活動

昨年度の報告内容と同じく適切な管理を継続していることを確認した。

前回委員会にて報告した患者誤認については前年同期と比較し件数が減少している。一方で、レベル3a事例の件数は増加しており、特に療養上の世話や医療機器等による皮膚損傷等に関する報告の増加が目立つ。皮膚損傷発生のリスク評価を行うなどの予防対策が実施できていないことが要因の一つとして考えられた。

④ 医薬品安全管理体制

昨年度の報告内容と同じく適切な管理を継続していることを確認した。

今年度より、入院サポート室にも薬剤師を配置したこと、入院サポート室の薬剤師と病棟担当の薬剤師、周術期の専任の薬剤師の3者が連携できる体制を整え、外来の時点で術前中止薬などの確認を行い、共通テンプレートを用いて情報共有するなど、適切に運用していることを確認した。

また、今年度上半期には、毒薬の使用済みバイアルを、本来は薬剤部に返却し確認後に

廃棄すべきところ、病棟で誤廃棄するという不適切事例が発生したこと、この事例を受け、毒薬の取扱いを今一度周知徹底するため、麻薬、向精神薬、毒薬に関する研修会における毒薬のパートを増やすこととしたことを確認した。

⑤医療機器安全管理体制

今年度上半期の研修は主に新規導入医療機器等について、14回実施しており、延べ99名が参加した。定期点検・更新も計画通りのスケジュールで実施されている事等を確認した。

判定

2022年度上半期の国立成育医療研究センター病院における医療安全管理業務は概ね適切に実施されている。なお、以下の点について検討すること。

1. 引き続き関係法令や指針等に基づき、適切に医療安全管理業務を遂行していくこと。

以上

2022年11月29日

国立成育医療研究センター 医療安全監査委員会

委員長 岡 明

委員 赤羽根 秀宜

委員 小林 徹

委員 中村 治雅

委員 花井 十伍

委員 三牧 正和